

シズルワードの現在「おいしいを感じる言葉」調査報告

株式会社 B・M・FT リサーチ・ディレクター
光岡 祐子



目 次

概要.....	1
はじめに.....	1
1. 言葉とは何か.....	2
(1) おいしい感覚を表す言葉.....	2
(2) 感覚の言葉は食べ物の像と結びつく.....	2
2. 調査の方法.....	3
(1) 調査概要.....	3
(
. ランキングと言葉の分類.....	4
(1) 味覚系.....	5
(2) 食感系.....	8
(3) 情報系.....	11
(4) 感情系.....	14
4. トレンド動向.....	15
(1) 味覚系トレンド.....	15
(2) 食感系トレンド.....	17
(3) 情報系トレンド.....	18
(4) 変化のまとめ 2003~2023.....	20
おわりに.....	20

概要

おいしいモノを食べたとき、そのおいしさをどう知覚し、言葉にしているのか。おいしさを表現する言葉として、どのような言葉が使われているのか。

B・M・FT では、「うま味がある」「もちもち」「贅沢な」など、「おいしそう」「食べたい」という欲求を喚起したり、「おいしい」記憶を表現したりする言葉を“シズルワード”と呼び、2003年から継続して調査、分析を行っている。

コロナ禍を経て、食のスタイルや価値が大きく変わってきている今、おいしさの感覚、おいしいを感じる言葉はどこに向かっていくのか。

最新の調査結果をもとに、シズルワードの今後の動きを考える。

■ポイント

- ・シズルワードとは
- ・シズルワードの4分野 〈味覚系〉〈食感系〉〈情報系〉〈感情系〉
- ・シズルワードの現在
- ・シズルワードの変化と動向

はじめに

飲食の体験は味覚を中心とした味覚や嗅覚の総合的な感覚の体験をさす。焼鳥屋からの香ばしいにおいや母親の包丁とまな板の音、レシピ動画など、さまざまな料理体験が存在する。実際には食べていないが飲食したときの感覚を思い出す／期待することがあり、これに関係していることがシズル表現となる。期待はおもに視覚で形成され、味覚／嗅覚＋触覚／聴覚で体験する。おいしそうな食べ物とはビジュアルとそれを説明するための言葉を読む／見ること、そうした視覚を中心とした刺激によって、それを実際に食べてはいなくとも食べたように感じる。おいしい感覚が想起されておいしいという期待感が呼び起こされる。こうしたことの一連の表現がシズルワードである。

1. 言葉とは何か

(1) おいしい感覚を表す言葉

コンビニエンスストアに入店すると、以前は店頭のコーヒーや冬場のおでんの鍋から、においによる直接的な刺激が伝わってきていた。しかし、現在は基本的には無臭の状態である。においという直接的な刺激のなくなった店頭では、消費者は何によって購入したいモノを判断するか。このにおいに代わる役割を果たすのが食べ物のビジュアルとそれを説明する言葉である。

ここでは感覚体験としての飲食を想起させる言葉について事例を挙げて解説する。

事例：セブンイレブン 「シャキシヤキレタスサンド」

棚上にさまざまなサンドイッチがある中でサンドイッチの断面と「シャキシヤキレタス」という文字。ここから圧倒的に訴求されているのがシャキシヤキなレタスという文字と分厚いレタスの断面であり、ハムやチーズの具材よりもレタスを食べたときの自分の口の中の食感／魅力が伝わっている。

言葉とビジュアルに惹かれて購入し、食感と音が体験として実感され期待感が満たされると、消費者の中に実感が積み重なり「次回も買いたい」という気持ちに結びつく。

そうしたサイクルが成立すると「眠気を覚ましたいとき」などに付随し、店頭に行かなくても食べたくなる。シャキシヤキという言葉は知覚としてフィードバックされ、再び買いたいという行動につながる力を持っている。

(2) 感覚の言葉は食べ物の像と結びつく

【もちもち】

「もちもち」からどのような食べ物をイメージするか？の調査では、パン類／餅／団子／アイス／食品とつながる。単品の商品ではミスタードーナツ「ポンデリング」、ロッテ「雪見だいふく」であるが、代表的な商品の背後にはさまざまな系統の商品／多くの食品が存在している。

お餅のもちもち感が伝わる「もちもち」というオノマトペは、商品的には2003年発売のミスタードーナツ「ポンデリング」に使用され、のちに餅以外の多くの商品に使用された。以来、オノマトペの表現が食品に爆発的に使用されるようになり、現在に至る。

食べ物のおいしさを表す言葉で考えると、シズルワードの広がりをおいかに多く持てるかがシズルワードの強さとなる。より多くの食品、料理、感情やファッションなどに結びつき、より強いシズルワードとして力を発揮できる。

こうした傾向は「もちもち」に限らず、さまざまな言葉で成立している。以下に例を挙げる。